

## 24年度自己評価結果公表シート

作成 大阪商業大学附属幼稚園

### 1. 本園の教育目標

“人間形成の土台づくり”が、学校法人谷岡学園教育理念“世に役立つ人物の養成”へとつながるように、子ども達の遊びや生活を通じた教育活動を行います。

- ① 豊かなこころを育てる・・・品格ある立派な人間に育てるために！
- ② 小学校につながる力・・・小学校でますます学力が向上するように！
- ③ やわらか頭・・・自分の頭で考える力を育てるために！
- ④ 楽しい生き方・・・自己の力を効果的に発揮できるように！

### 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・園児の入園から就学前までを見通し、教育課程を基に指導計画の充実に向け、教職員間で話し合う場を多く設けるなど、教育内容の改善と個々の資質向上に主体的に取り組む。
- ・教育環境の整備（新入園児用机、椅子、整理棚の購入、防犯カメラ設置、通園バスの増車）
- ・地域や系列校との連携策について検討し、日頃接することの少ない年代の方々との交流を深めることで園児の生活の幅を広げ、今後の成長に繋げていく。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成実施に関し、教職員間の共通理解を図る。	教育目標、建学の理念と幼稚園教育要領の接点を求め、子ども達の実態に即したねらいに基づき、学年毎に内容を検討することができた。
建学の理念、教育要領、教育課程、子どもの実態等を基に指導計画を作成する。	教育目標、建学の理念と幼稚園教育要領の接点を基に、各項目に対する指導計画を学年ごとに作成し実施した。 また、子ども達の実態を踏まえて、日々各学年の担当教員が連携し、意見交換をしながら、学びや育ちを保証できる指導計画となるよう、学期毎に加筆、訂正を行い、実践に繋がるように充実を図った。
教職員間の保育に対する共通理解を強化するため、園内研修を充実させる研究会等へ積極的に参加し、教員一人ひとりの資質の向上に努める。	教職員間で園内研修・情報交換を行いながら、園児に対する共通理解を深め、見通しを持った保育を実践するよう心がけた。 各行事の打合せ及び反省会や、職員室で日々先輩・後輩の意見に耳を傾けるなど、お互いの考えを出し合い、議論する機会を持つことができた。 また、外部団体主催の研修で学んだ内容を園内研修で積極的に報告するなど、毎日の保育の参考となる情報を共有できよう心がけた。

評価項目	取組状況
園だよりや子育てサロン、公式WEBサイト（新着情報、ブログ）などを通して幼稚園の情報を発信していく。	保護者との懇談や参観、子育てサロン（年5回）、学年親睦会などを定期的実施して子ども達の学びや育ちを伝えてきた。保護者の思いや考えを受け止め、園内で事故等が発生した場合は特に丁寧に対応し、説明責任を果たすことを心がけた。また、公式WEBサイトの運営は、保護者会広報部とも連携し、在園児の保護者だけでなく、一般の方にも園の教育活動に興味を持っていただけるように工夫し、日常の様子、行事や園外保育の様子、保護者間で実施されたイベントの報告等、タイムリーに情報を発信した。
安全に配慮した環境づくり（施設の改善）	園内、園庭の環境整備のため、定期的に遊具の点検を実施し、危険な個所がないかどうか確認した。必要に応じて改修等の整備を行い、園児が園内で安全に過ごせるように配慮した。また、園児増に対応するべく、遊具、備品等を整理するとともに、机、椅子、整理棚を購入し、整理整頓に努め、安全で広い遊び場所を確保した。なお、防犯対策として正門と東側出入口の合計4箇所を防犯カメラを設置した。
地域・系列校との連携	園児の成長の場を創り出すため、次のとおり実施した。 地域との連携については、幼稚園行事（夕涼み会、敬老会、商幼祭）などを通じて、地域住民の方に対し、園児が思いやりの気持ちを持つことができるよう意識をつけるとともに、幼稚園の取組み内容、行事等への理解を得るよう努めた。 系列校との連携では、学園のスケールメリットを活かし、24年度は大阪女子短期大学幼児教育科と連携し、幼児教育を学ぶ学生と園児との交流、保育実習を通じて短大生が直接園児と接する機会を設け、実践的な保育を体験することができた。また、神戸芸術工科大学とは25年度の連携を視野に入れ、11月の年長組1泊保育のスケジュールに大学訪問を取り入れ、自然環境を満喫した。幼稚園とは違う環境で保育を実施し、担任以外の保育者と接することにより、園児の五感を刺激することにも繋がった。 なお、大阪商業大学高等学校とは隣地にあることを活かした交流として、運動会への参加、園児の意見を取り入れたおもちゃ（木製パズル）の制作を継続して実施した。

評価項目	取組状況
預かり保育の充実	在園児の預かり保育（延長保育）料金を見直し、保護者が利用しやすい環境を提供したことにより、利用者増につながった。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>全教職員が学校評価の主旨を理解し、各自が適切に自己点検、自己評価に取り組む必要性を強く感じた。また、多様な子供に対応するため、教職員の資質向上が求められており、継続して取り組むべき課題として一層認識した。</p> <p>施設面では、環境整備や室内、園庭の自然など、環境構成に力を入れており、子どもがその環境に自らかかわり、探索しながら育っていくことができる環境づくりをすることが重要であると感じた。</p>
--

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保護者ニーズの把握と建設的なコミュニケーションのあり方を検討する	建学の理念に基づいた教育に十分配慮しつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を、保護者との懇談会や保育参観、担任等を通じて把握し、現代社会において求められる幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎とし、そのことを発信して理解を求め、教育の内容を深めたい。
教育力向上への取り組み	見える教育と見えない教育をあきらかにし、園内研修の強化と外部研修会への積極的な参加等により、教員一人ひとりの教育力のレベルアップと笑顔が発揮できる取り組みを行う。 毎年度末に実施している全日私幼研究機構が作成した自己評価に基づき、各教員の自己点検の結果を全教員にフィードバックする。個人の問題点があれば幼稚園としての問題点として共有し、今後の教育に活かすようにする。
安全管理マニュアルに基づく防災・防犯体制の確立	25年度は園児数が定員を超過するため、改めて園内の避難経路を確認し、保育者が各自の役割分担を自覚して学期毎に実施する避難訓練に臨む。 なお、地元の布施警察署（生活安全課）との連携の中での防犯訓練を継続して実施し、訓練回数を重ねる中で様々な状況を想定する。また、西消防署へは年1回園児が訪問し、火災予防に対する心構えや注意事項などについて話しを聞く機会を設けるなど、より良い防災・防犯体制が構築できるようにする。

課 題	具体的な取り組み方法
特別支援教育の充実	<p>支援を要する子ども達へのアプローチについて、専門家の話を聞くなど、継続的に研修内容を実践に結びつける努力をする必要がある。</p> <p>このため、25年度からは原則月1回、キンダーカウンセラー1名配置し、専門家と一緒に援助のあり方を検討したり、保護者とも連携するなどして、一人ひとりに合った対応ができるようにしていく。</p>
地域・系列校との連携	<p>幼稚園の取組み内容、行事等への理解を得るべく、幼稚園行事（夕涼み会、敬老会、商幼祭）などを通じて積極的に働きかけ、相互理解を深める。</p> <p>また、系列校との連携策として、25年度は神戸芸術工科大学との連携事業を実施するとともに、大阪商業大学高等学校との連携として、運動会への参加、園児の意見を取り入れたおもちゃ（木製パズル）の制作も継続して実施する。</p>

## 6. 学校関係者よりの意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方針がしっかりしている。</li> <li>・園庭には池があり、自然もあふれている。子ども達がしぜんと遊びたくなる環境である。</li> <li>・幼稚園の雰囲気良く、先生達も明るく話しやすい。</li> <li>・幼稚園生活において、同年齢や異年齢の子供たちとの交流を通じ、協調性や思いやりの心を持った子供に育てて欲しい。</li> <li>・今日に至るまで一人ひとりに寄り添い、個性を活かす保育を展開している伝統的な幼稚園である。幼稚園は他者と出会う初めての場でもあるため、一人ひとりが仲間であるという意識ができる教育をして欲しい。</li> <li>・教員の資質向上に関し、中長期目標を立て、段階的に実施することが望ましい。</li> <li>・天災、人災から園児を守る安全管理については、毎年度見直しを図り、取り組みがなされているが、気を抜くことなく、様々な場面を想定して継続、充実していくことを期待する。</li> <li>・地域に必要とされる幼稚園として、園児の保護者をはじめとした幼い子供を持つ保護者を対象とした講演会等を行うなどし、広く社会的役割を担って欲しい。</li> <li>・地域や系列校との連携は、園児にとってどれも楽しい行事であるが、ひとつひとつの連携について、教員間で教育目的を共有し、より効果をあげるしくみ作りを期待する。</li> </ul> <p>以上のことを具現化するべく、各事業を推進する。</p>
---

## 7. 財務状況

<p>学校法人谷岡学園として、監事及び公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。</p>
---